

令和5年3月

保護者の皆様へ

令和4年度郡山市立学校児童生徒の体力及び発育の現状のお知らせ

郡山市教育委員会

保護者の皆様におかれましては、日頃より、本市学校教育へ御理解、御協力いただき誠にありがとうございます。

さて、令和4年度の全国及び県の体力テストの結果と学校保健統計調査の結果を踏まえ、本市小学生と中学生の健康に関わる現状について別紙にまとめましたので参考にさせていただければと思います。

子どもたちが生涯にわたって健やかに生活していくためには、幼少期からの運動習慣や食習慣、生活習慣が大切であると言われております。

市や学校、家庭が連携し、肥満の予防と適度な運動習慣が身につけられるようにともに手を携え、実践していければと考えております。

子どもたちの未来のために「今」を大切に過ごせるよう、今後とも変わらぬ御理解、御協力をお願いいたします。

○スポーツ庁室伏長官より令和4年度体力テスト結果の紹介



URL <https://www.youtube.com/watch?v=AbEVQcNvxjc>

(郡山市教育委員会学校管理課 924-3421)

令和4年度郡山市立学校児童生徒の体力・運動能力、発育の現状について

郡山市教育委員会

令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小5、中2対象）及び福島県体力・運動能力調査（小3～中3対象）を受けて、本市の現状についてお知らせいたします。

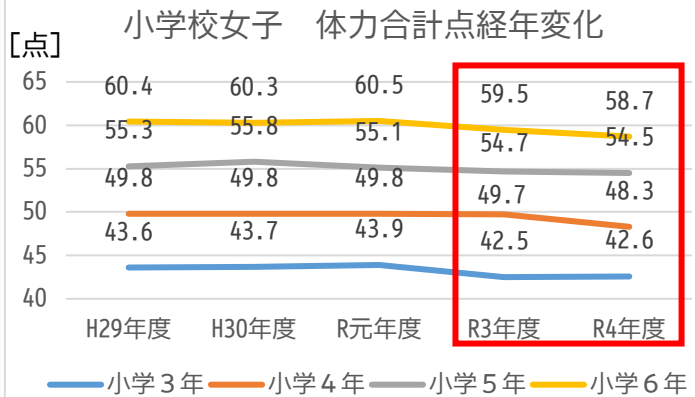
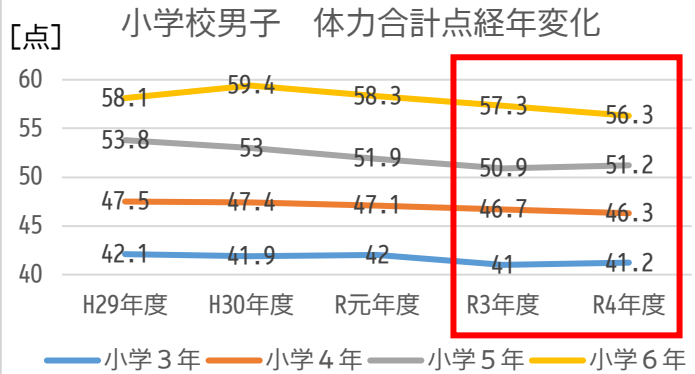
1 本市小学生の体力テストの概要

※令和2年度は新型コロナの影響により、実施時期が例年と異なるため参考外としています。

令和元年度末（令和2年3月）より新型コロナウイルス感染症の蔓延により、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しました。その影響を受け、R元年度以前と比較するとR3年度、R4年度と緩やかに体力合計点が低下している学年が多くなっております。

令和3年度夏休み明け（第5波後）には、子どもたちを取り巻く運動に関する環境は、令和元年度以前に近い状況となりました。しかし、令和4年度の値を見ますと、過去6年間と比較し、明らかに体力が低下していることがわかります。

これは本市に限らず、全国、県も同様の傾向を示しており、コロナ禍による生活習慣の変化が時間をかけ運動能力に影響を及ぼしているとの指摘もあります。



2 本市小学生における肥満傾向児の割合について

※肥満傾向児とは身長別標準体重より、20%以上超えた児童生徒のことです。

本市児童生徒は、肥満傾向児の割合が震災以前より全国平均よりも高いです。令和4年度は、過去と比較しても肥満傾向児の割合が高い学年が多く、肥満傾向が体力テストの結果に影響していることは否定できません。また、青い矢印を見ると学年が一つ上がると同じ子どもたちの肥満傾向児の割合が増加していることがわかります。

	全国		本市			全国		本市	
	R3	R3	R3	R4		R3	R3	R3	R4
男子					女子				
小1	5.3%	7.9%	7.9%		小1	5.2%	6.7%	5.9%	
小2	7.6%	9.0%	12.0%		小2	6.9%	9.7%	9.0%	
小3	9.8%	13.3%	14.4%		小3	8.3%	10.8%	11.7%	
小4	12.0%	16.3%	18.3%		小4	8.2%	11.3%	12.6%	
小5	12.6%	17.6%	20.5%		小5	9.3%	14.8%	12.2%	
小6	12.5%	18.6%	20.0%		小6	9.4%	13.0%	15.4%	

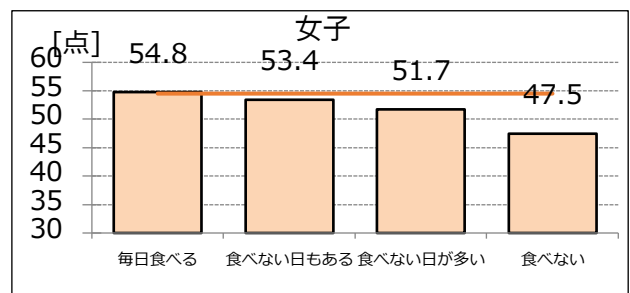
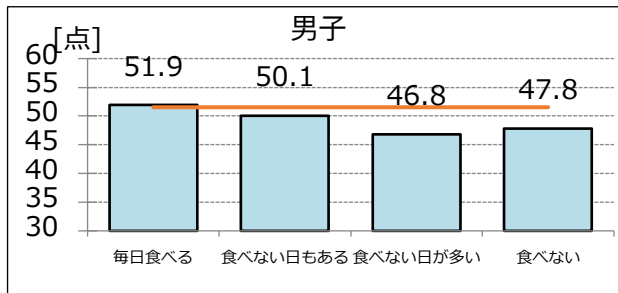


3 本市小学5年生のアンケート結果より

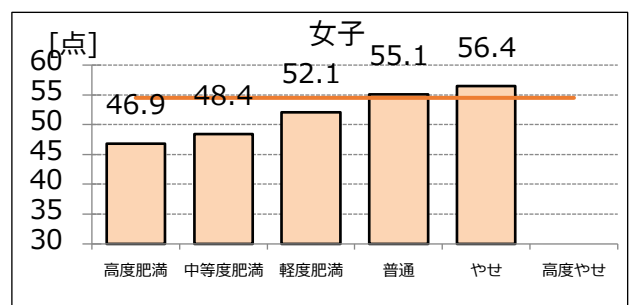
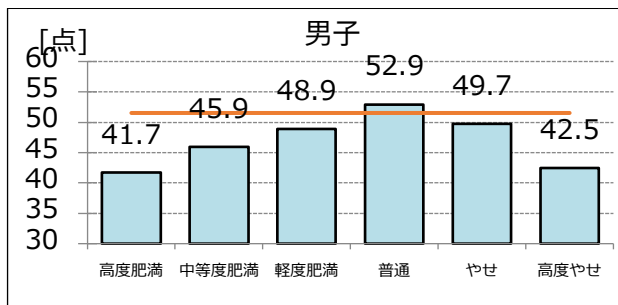
運動やスポーツが「好き」				週の総運動時間が60分未満である(授業以外)					
	小学5年男子		小学5年女子			小学5年男子		小学5年女子	
全国		69.8%		54.9%	全国		9.3%		14.6%
本市		63.8%		50.9%	郡山市		13.2%		17.0%

スポーツクラブ・スポーツ少年団への所属				体育の授業は楽しい					
	小学5年男子		小学5年女子			小学5年男子		小学5年女子	
全国		49.5%		34.6%	全国		73.4%		59.3%
郡山市		45.5%		27.7%	郡山市		73.4%		59.1%

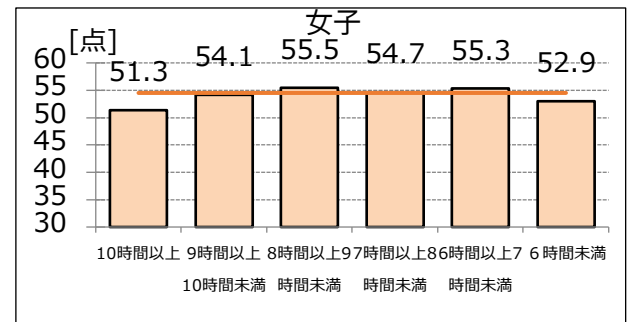
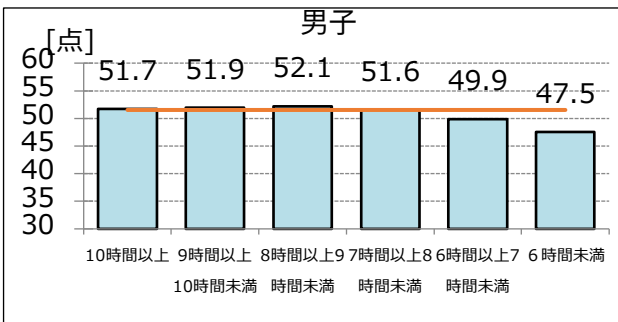
① 「朝食摂取×体力合計点」



② 「体力合計点×肥満度」



③ 「1日の睡眠時間×体力合計点」



※オレンジの線は全体の平均値を示しています。

【まとめ】

体力は、運動をするための体力と健康に生活するための体力があると言われており、健康な生活を営む上で必要な力となります。適度な運動と、適切な栄養、生活習慣を整えることで肥満を防止し、体力を向上していきたいと考えております。学校では、運動量豊富な体育の授業と給食を通じた食育、学校生活を通して生活習慣を整えてまいります。

各家庭においても、①積極的な運動機会の創出（歩くこと、遊ぶこと、地域のイベントへの参加）、②食生活の管理（食べ過ぎや偏食、おやつへの節制）、③生活習慣（早寝、早起き、朝食の摂取など）を今一度見直し、子どもたちの健康のために、学校や地域とともに手を携え取り組みましょう。